

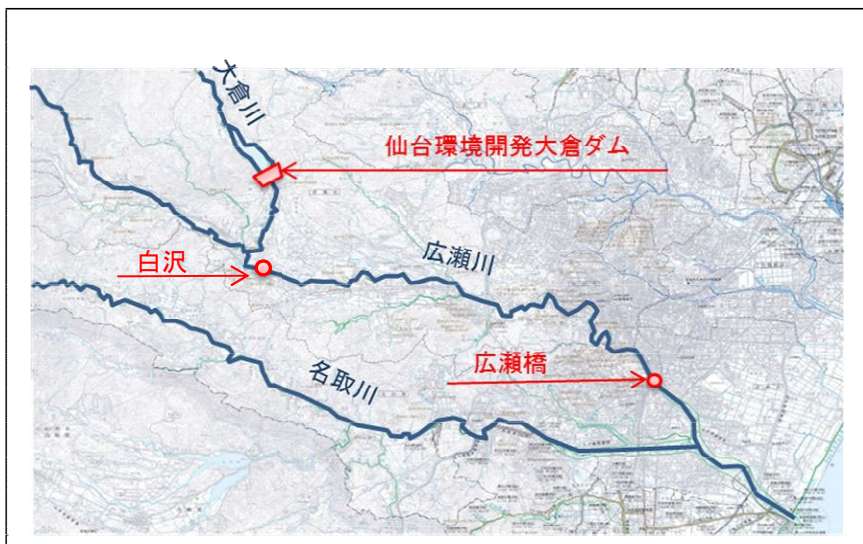
一級河川名取川水系 大倉川 大倉ダムの効果(令和4年7月14日)【速報】

宮城県

○大倉ダムでは、令和4年7月12日から令和4年7月13日に、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が148mm、最大時間雨量では22mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画1,200m³/sに対し、**160.38m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の96.4%(154.56m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



ダムの状況写真



貯水位 EL. 262.48m
(洪水前 7月12日 9時00分)



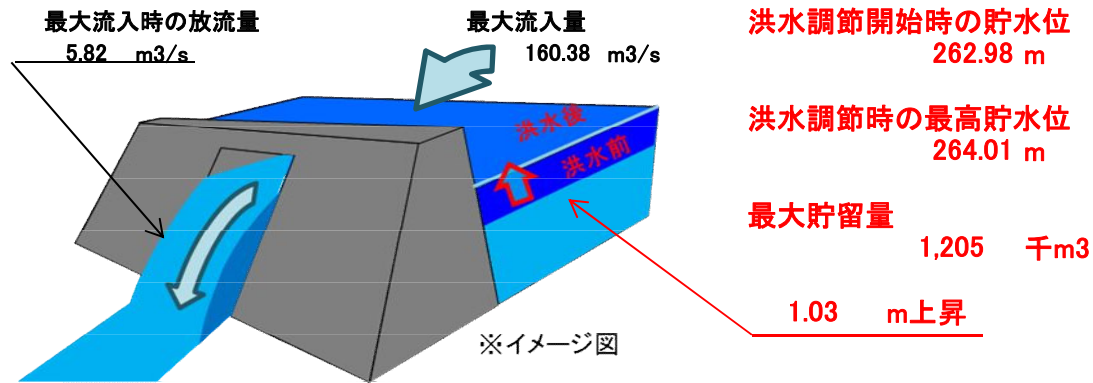
貯水位 EL. 265.52m
(洪水後 7月14日 11時00分)

大倉ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	13日 11時 40分	終了	13日 14時 20分
・ダム流域累計雨量	148 mm	(12日 21時 ~ 14日 5時)
・最大時間雨量	22 mm	(13日 9時 ~ 13日 10時)
・ダムへの最大流入量	160.38 m ³ /s	(13日 13時 10分)
・最大流入時の放流量	5.82 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	154.56 m ³ /s	(約	96.4%)

大倉ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 96.4% をダムに貯留しました。



○大倉ダムの洪水調節等により、広瀬川の白沢地点で水位を約0.7m低減させる効果があったものと推測されます。

下流河川の状況写真



水位 -0.27m 流量 3.00m³/s
白沢水位観測所(洪水前 7月12日 18時00分)



水位 0.69m 流量 62.18m³/s
白沢水位観測所(洪水後 7月14日 7時00分)

広瀬川(白沢地点)の水位低減効果

